

日本シェリング協会 第34回総会・学術大会（早稲田大学・戸山キャンパス）のお知らせ

第34回大会は、2025年7月12日（土）・13日（日）に、早稲田大学・戸山キャンパスにて、対面・オンラインのハイブリッドで実施します。

- ・懇親会参加登録フォーム

<https://docs.google.com/forms/d/1wq0Tcj3la4Y1ZK9Z5kkqm-j7RI-dz3d4y2hcrsPopal/edit>

- ・非会員の方のオンライン参加登録フォーム

<https://forms.gle/f51dhyb9CfCDQy376>

- ・参加費

大会参加費（対面のみ）：A会員1,000円 B会員500円

非会員1,000円（公開講演会のみを聴講される方は無料です）

懇親会費(案)：A会員6,000円 B会員3,000円

非会員：常勤職6,000円、それ以外の方3,000円

- ・懇親会費については、参加者の人数により若干の金額の変動が予想されます。ご了承ください。

- ・会場

発表会場：早稲田大学・戸山キャンパス36号館581教室

懇親会会場：戸山カフェテリア（38号館1階）

- ・Wi-Fi の環境について

会場では eduroam（エデュローム）が使用できます。発表資料については Onedrive のリンクにアップロードします。リンクは当日に会場で掲示します。オンライン参加の方にはメールでお知らせします。

- ・大会中の昼食について

週末は学内の食堂が営業していないため、昼食には近隣のコンビニエンス・ストアか飲食店をご利用ください。

第 34 回大会プログラム

2025年7月12日（土）	2025 年 7月 13日（日）
	10時30分－11時10分 研究発表 VI 田口博子（白百合女子大学）「移行と帰還－フリードリヒ・シラーの『人間の美的教育について－一連の書簡－』における遊戯衝動と美的状態－」（司会：中村美智太郎）
	11時20分－12時00分 研究発表 V 小原優吉（東京大学）「『超越論的観念論の体系』における観念論と實在論の調停」（司会：深谷太清）
	12時00分－13時00分 休憩
13時00分－13時40分 理事会	13時00分－16時00分 シンポジウム 「シェリング自然哲学再考」 中島新（ボン大学）「後期シェリングにとって自然哲学とは何であったか」 浅沼光樹（立命館大学）「非生命---質料とアイデアを媒介するもの」 檜垣立哉（専修大学）「ドゥルーズからみたシェリング」（司会：橋本崇）
13時40分－14時20分 総会	
14時30分－15時10分 研究発表 I 葛西李成（大阪大学）「グラント以後のカント『判断力批判』再解釈——その自然哲学的意義に着目して——」（司会：中島新）	
15時20分－16時00分 研究発表 II 橋本悠介（京都大学）「Fr. シュレーゲル「研究－論文」における近代悲劇論」（司会：松岡健一郎）	
16時10分－16時50分 研究発表 III 吉田一生（国際基督教大学）「ポテンツは何故、神々になるのか－シェリング自然哲学と神話の哲学の関係から観る人間の本質－」（司会：諸岡道比古）	
17時00分－18時00分 公開講演 坂庭淳史（早稲田大学）「シェリングと19世紀ロシア文化－愛智会とチュッチェフを中心に」（司会：武田利勝）	
18時15分－20時15分 懇親会	

キャンパスマップ



早稲田大学戸山キャンパスへのアクセス

JR山手線／西武鉄道西武新宿線 高田馬場駅から徒歩20分

東京メトロ 東西線 早稲田駅から徒歩3分

東京メトロ副都心線 西早稲田駅から徒歩12分

都バス 学02（学バス） 高田馬場駅 - 馬場下町

東京さくらトラム（都電 荒川線） 早稲田駅から徒歩10分

大会会場は36号館581教室、懇親会会場は38号館1階戸山カフェテリアになります。

（理事会会場並びに控室として、36号館582教室を準備しています）